

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	422	施策	学校教育環境の整備
管理事業	学校保健体育事業	所管部局	学校教育部

1	所管室課	学務課	事業名	要保護・準要保護医療費援助事業		
事業概要						
要保護・準要保護医療費援助						
活動実績						
・医療費支給対象者数 204人、延べ支給件数 566件		年度 決算額 (千円)	R2 704	R3 489	R4 371	評価の視点 ※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 児童・生徒の健康の保持増進や保護者の負担軽減を図るために必要である。
		一般財源の比率(%)	92.8	94.9	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 支給者数は減少傾向にあるが、本制度を利用することで児童生徒の健康維持や保護者の負担軽減が図られることから、継続的な制度の周知が必要である。						

2	所管室課	保健給食室	事業名	学校保健体育事業		
事業概要						
健康診断実施、学校環境衛生管理、学校事故補償等						
活動実績						
児童・生徒の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法等に基づく健康診断や学校環境衛生検査を実施した。 そのうち、学校保健安全法に定められている尿検査や心臓検診、結核検診等の各種検診や検査、教職員に対する定期健康診断やストレスチェック等の健康管理事業を委託により実施した。 また、日本スポーツ振興センター災害給付制度及び全国市長会学校災害賠償保険により、児童・生徒への学校管理下の災害に対する補償を行った。		年度 決算額 (千円)	R2 235,467	R3 223,258	R4 222,569	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、児童・生徒の健康の保持増進に努める。
		一般財源の比率(%)	92.7	94.4	94.4	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 学校保健安全法及び同法に基づく基準等により実施している業務がほとんどであり、経費を抑える工夫の余地が少ない。 また、ここ数年、児童・生徒数の増加が続いており、対象者数に比例して増加する支出もあり、今後の経費増が懸念される。						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度 決算額 (千円)	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	422	施策	学校教育環境の整備
管理事業	小学校管理事業	所管部局	学校教育部

1	所管室課	教育総務室	事業名	小学校管理事業	
事業概要					
小学校管理					
活動実績					
・学校教育環境の整備のため、各小学校に学校サポートスタッフ（会計年度任用職員）を1名配置している。 ・令和4年度は学校保健特別対策補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策として、小学校施設消毒業務の委託を実施した。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、教育環境の充実に努める。
	決算額(千円)	38,173	75,831	66,267	
	一般財源の比率(%)	88.8	47.0	54.1	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 各学校での業務量に比して、現在の配置で対応しているのか適切な評価を行うことが課題である。					

2	所管室課	学校管理課	事業名	小学校管理事業	
事業概要					
小学校管理					
活動実績					
建設後長期間が経過した市立小学校校舎の年次的な大規模改造工事に係る教室の内装工事に伴い、スクールロッカーや保管庫等の備品を更新した。 理科教育振興法に基づく国庫補助制度を活用し、実験器具や計量器等の理科教材を整備した。児童の学校生活の安全を確保するために、小学校の校門に警備員等の配置を行い、来校者の受付とチェックによる不審者の侵入防止・抑制を図った。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、教育環境の充実に努める。
	決算額(千円)	1,020,038	991,771	1,313,010	
	一般財源の比率(%)	89.5	74.9	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 購入備品の納期を教室の内装工事の工程と合わせる必要があるため、工事を所管する資産経営室と連携し、適切な備品の購入に努める必要がある。 理科教育設備整備費等補助金は国の補助率が1/2であり、市負担分が必要となることから、限られた予算を効果的に執行し、引き続き学校現場に応じた整備を進める必要がある。 不審者対策には警備員など人的配置による抑制効果は極めて有効であるため、継続して実施する必要がある。					

3	所管室課	学校管理課	事業名	小学校運営事業	
事業概要					
小学校教師用教科書等配付					
活動実績					
授業に必要な教師用教科書及び指導書等を購入し、全市立小学校に配付することで、学習指導の充実に図った。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、教育環境の充実に努める。
	決算額(千円)	210,019	16,986	12,296	
	一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 教科書改定に伴い、教科書及び指導書を一新するため、年度によっては購入経費が多額となる。教育環境を維持しつつ、購入必要数を精査し、経費削減に努める必要がある。					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	422	施策	学校教育環境の整備
管理事業	小学校管理事業	所管部局	学校教育部

4	所管室課	学校管理課	事業名	小学校営繕事業		
事業概要						
小学校一般営繕、小学校特別営繕						
活動実績						
経年劣化が進む学校施設の保守点検、営繕工事、設計委託等を行った。						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	447,927	533,843	353,183	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	<input type="checkbox"/> ※課題があるものは <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、教育環境の充実に努める。
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 学校からの要望に基づき、緊急を要する施設の不具合について修繕対応を行うとともに、設備機器の保守点検や施設の定期点検等を行い、児童が安心して学習できる環境を整えていく必要がある。施設の長寿命化や機能の維持、向上を図るために継続して取り組む必要がある。						

5	所管室課	学校管理課	事業名	小学校改修事業		
事業概要						
小学校外壁等改修、小学校校舎大規模改造、小学校屋内運動場大規模改造、小学校過大校等対策、小学校特別教室空調設備設置、小学校屋内運動場空調設備設置						
活動実績						
(1) 校舎大規模改造工事実施件数 令和2年度…7校 令和3年度…0校 令和4年度…7校 (2) 屋内運動場大規模改造工事実施件数 令和2年度…3校 令和3年度…3校 令和4年度…2校 (3) 外壁等改修工事実施件数 令和2年度…5校 令和3年度…0校 令和4年度…0校 施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、公共施設最適化の考え方を踏まえ、施設の外壁、屋上防水、建具、内装等の改修工事を行った。小学校36校の屋内運動場(体育館)への空調設備の整備を目指し、調査検討業務等を実施した。 令和2年度決算額には令和元年度⇒令和2年度(繰越分)小学校校舎大規模改造事業等2,439,408千円が別途(事業再編によるもの)						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	150,107	1,599,366	2,000,202	
		一般財源の比率(%)	47.2	8.0	0.1	<input type="checkbox"/> ※課題があるものは <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、教育環境の充実に努める。
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 施設の長寿命化や機能の維持、向上を図るために継続して取り組む必要がある。						

6	所管室課	教育未来創生室	事業名	小学校管理事業		
事業概要						
小学校通学路安全対策						
活動実績						
防犯カメラを設置することで、校区変更に伴い通学路となった道路の安全を確保した。						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	245	246	246	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	<input type="checkbox"/> ※課題があるものは <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、教育環境の充実に努める。
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 他の類似業務との連携について検討を進めている。						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	422	施策	学校教育環境の整備
管理事業	小学校管理事業	所管部局	学校教育部

7	所管室課	教育未来創生室	事業名	小学校改修事業	
事業概要					
小学校過大校等対策					
活動実績					
開発等による人口流入に伴い児童数が増加している地域について、小学校の教育環境の低下を招かないよう、対応を行った。 (1) 校舎増築に係る工事監理業務、校舎増築工事等を実施した。 (2) 軽量鉄骨造校舎のリースにより、普通教室を確保した。 (3) 増学級に伴い、児童用机・椅子等の消耗品や、スクールロッカー・シューズボックス等の備品を購入した。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、教育環境の充実に努める。
	決算額(千円)	1,353,280	833,687	27,767	
	一般財源の比率(%)	22.5	12.0	23.9	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 他市の状況等を踏まえながら手法の検討を進めている。					

8	所管室課	保健給食室	事業名	小学校給食事業	
事業概要					
給食施設管理、学校給食運営、厨房用備品更新					
活動実績					
給食設備等の維持管理を行った。また、児童数の大幅な増加に対応するため、給食調理室の増築及び改修を行った。 学校給食法に基づき、衛生的に良好な調理及び安全衛生管理に基づいて、児童に安全で衛生的かつ栄養バランスのとれた給食を提供した。 学校給食に使用する厨房用備品のうち、老朽化したものを更新した。 【吹田市学校給食費緊急支援事業補助金による拡充】 コロナ禍のなか、市民生活を支える緊急的なアクションプランとして、小学校給食費を無償化(令和4年4月から令和5年3月)し、吹田市学校給食を運営している吹田市学校給食会に対し補助金を交付した。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 学校給食の運営については、民間の力も活用し、事業の効率化を図る。
	決算額(千円)	1,415,655	1,289,367	1,512,275	
	一般財源の比率(%)	37.6	76.1	54.6	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 給食施設・設備の老朽化が著しく、年次的に施設を改修していく必要がある。 耐用年数が過ぎた厨房用備品が数多くあり、計画的に更新する必要がある。					

9	所管室課	学校教育室	事業名	小学校改修事業	
事業概要					
小学校支援教室空調設備設置、小学校エレベーター設置					
活動実績					
(1)配慮を要する児童の教育環境・学習環境の向上を目的として、支援教室等に空調設備を設置した。 ・実績 令和2年度…3校 令和3年度…4校 令和4年度…5校 (2)自力での校舎内上下移動が困難な児童の教育及び学校生活を保障するため、在籍校にエレベーターを設置した。 ・実績 令和2年度…2校 令和3年度…なし(※1校につき設計を実施) 令和4年度…1校	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後もニーズを適切に把握した上で、設置を進めていく。
	決算額(千円)	6,275	12,955	178,183	
	一般財源の比率(%)	100.0	17.1	2.3	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・障がいの重度化・多様化、在籍数の増加による支援教室の増加が今後も予想される。 ・エレベーター設置は、設計及び工事に概ね2年を要するため、入学前から支援を要する児童の現況と入学予定を把握した上で、設計計画をスケジュールとしていく必要がある。 ・いずれも学校施設環境改善交付金の補助対象事業であるが、特にエレベーター設置事業は、市の財政負担が大きいため、バリアフリーの観点から事業を計画的に進めていく必要がある。					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	422	施策	学校教育環境の整備
管理事業	小学校管理事業	所管部局	学校教育部

10	所管室課	教育センター	事業名	小学校管理事業		
事業概要						
小学校管理						
活動実績						
【学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業による拡充】 小学校管理事業 学校教育情報通信ネットワークに接続する、学校教育及び学校運営に必要な情報教育機器等の調達・整備を行った。令和4年度はGIGAスクール構想に係る児童・生徒1人1台端末を適切に運用するため通信環境が未整備である特別教室に対して校内LANの整備を行った。		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 児童一人ひとりに合った最適なICT教育を図るため今後も必要な経費となる。
		決算額(千円)	1,322,767	246,960	196,996	
		一般財源の比率(%)	14.6	99.0	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ICTの活用は児童の興味や関心を高め、主体的、対話的で深い学びの実現に効果的である。GIGAスクール構想のもと、児童1人1台端末の整備と運用により、個別最適化された教育環境の提供に努めていく必要がある。				

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	422	施策	学校教育環境の整備
管理事業	中学校管理事業	所管部局	学校教育部

1	所管室課	教育総務室	事業名	中学校管理事業		
事業概要						
中学校管理						
活動実績						
・学校教育環境の整備のため、各中学校に学校サポートスタッフ（会計年度任用職員）を1名配置している。 ・令和4年度は学校保健特別対策補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策として、中学校施設消毒業務の委託を実施した。		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、教育環境の充実に努める。
		決算額(千円)	17,721	37,536	32,792	
		一般財源の比率(%)	94.4	48.1	54.9	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 各学校での業務量に比して、現在の配置で対応しているのか適切な評価を行うことが課題である。				

2	所管室課	学校管理課	事業名	中学校管理事業		
事業概要						
中学校管理						
活動実績						
建設後長期間が経過した市立中学校校舎の年次的な大規模改造工事に係る教室の内装工事に伴い、スクールロッカーや保管庫等の備品を更新した。 理科教育振興法に基づく国庫補助制度を活用し、実験器具や計量器等の理科教材を整備した。		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、教育環境の充実に努める。
		決算額(千円)	426,439	378,832	445,254	
		一般財源の比率(%)	87.4	73.9	99.9	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 購入備品の納期を教室の内装工事の工程と合わせる必要があるため、工事を所管する資産経営室と連携し、適切な備品の購入に努める必要がある。 理科教育設備整備費等補助金は国の補助率が1/2であり、市負担分が必要となることから、限られた予算を効果的に執行し、引き続き学校現場に応じた整備を進める必要がある。				

3	所管室課	学校管理課	事業名	中学校運営事業		
事業概要						
中学校教師用教科書等配付						
活動実績						
授業に必要な教師用教科書及び指導書等を購入し、全市立中学校に配付することで、学習指導の充実に図った。		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、教育環境の充実に努める。
		決算額(千円)	1,214	63,931	1,558	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 教科書改定に伴い、教科書及び指導書を一新するため、年度によっては購入経費が多額となる。教育環境を維持しつつ、購入必要数を精査し、経費削減に努める必要がある。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	422	施策	学校教育環境の整備
管理事業	中学校管理事業	所管部局	学校教育部

4	所管室課	学校管理課	事業名	中学校営繕事業
事業概要				
中学校一般営繕、中学校特別営繕				
活動実績				
経年劣化が進む学校施設の保守点検、営繕工事、設計委託等を行った。				
	年度	R2	R3	R4
	決算額(千円)	173,917	224,163	158,884
	一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
学校からの要望に基づき、緊急を要する施設の不具合について修繕対応を行うとともに、設備機器の保守点検や施設の定期点検等を行い、児童が安心して学習できる環境を整えていくことが必要である。施設の長寿命化や機能の維持、向上を図るために継続して取り組むことが必要である。				
評価の視点				
※課題があるものは■				
<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
今後も引き続き、教育環境の充実に努める。				

5	所管室課	学校管理課	事業名	中学校改修事業
事業概要				
中学校外壁等改修、中学校校舎大規模改造、中学校屋内運動場大規模改造、中学校過大校等対策、中学校特別教室空調設備設置、中学校屋内運動場空調設備設置				
活動実績				
(1) 校舎大規模改造工事実施件数 令和2年度…4校 令和3年度…0校 令和4年度…4校				
(2) 屋内運動場大規模改造工事実施件数 令和2年度…2校 令和3年度…2校 令和4年度…2校				
(3) 外壁等改修工事実施件数 令和2年度…5校 令和3年度…0校 令和4年度…1校				
施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、公共施設最適化の考え方を踏まえ、施設の外壁、屋上防水、建具、内装等の改修工事を行った。中学校18校の屋内運動場(体育館)への空調設備の整備を目指し、調査検討業務等を実施した。				
令和2年度決算額には令和元年度⇒令和2年度(繰越分)中学校校舎大規模改造事業等1,441,488千円が別途有(事業再編によるもの)				
	年度	R2	R3	R4
	決算額(千円)	69,554	1,038,060	1,243,118
	一般財源の比率(%)	45.0	6.9	0.8
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
施設の長寿命化や機能の維持、向上を図るために継続して取り組むことが必要である。				
評価の視点				
※課題があるものは■				
<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
今後も引き続き、教育環境の充実に努める。				

6	所管室課	保健給食室	事業名	中学校給食事業
事業概要				
中学校給食				
活動実績				
学校給食法に基づき、衛生的に良好な調理及び安全衛生管理に基づいて、安全で衛生的かつ栄養バランスのとれた給食を選択制デリバリー方式で提供した。 *喫食率(全中学校の生徒のうち、中学校給食を喫食した生徒の割合) 令和2年度 18.2% 令和3年度 18.0% 令和4年度 21.4%				
【吹田市中学校給食費緊急支援事業補助金による拡充】 コロナ禍のなか、市民生活を支える緊急的なアクションプランとして、給食費の半額を補助(令和4年4月から令和5年3月)をした。 対象食数 315,176食				
	年度	R2	R3	R4
	決算額(千円)	137,109	120,622	172,955
	一般財源の比率(%)	57.0	100.0	100.0
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
令和8年度の全員喫食の実現に向けて、現在の選択制から円滑に移行するように準備を進めていく必要がある。				
評価の視点				
※課題があるものは■				
<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
全員喫食の実施に向けて取り組んでいく。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	422	施策	学校教育環境の整備
管理事業	中学校管理事業	所管部局	学校教育部

7	所管室課	学校教育室	事業名	中学校改修事業		
事業概要						
中学校支援教室空調設備設置						
活動実績						
(1)配慮を要する生徒の教育環境・学習環境を整備するため、支援教室等に空調設備を設置した。 ・実績 令和2年度…1校 令和3年度…1校 令和4年度…3校		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	2,074	2,961	5,215	
		一般財源の比率(%)	100.0	0.0	100.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
		・障がいの重度化・多様化、在籍数の増加による支援教室の増加が今後も予想される。 ・今後、エレベーター設置が予定されているが、設計及び工事に概ね2年を要するため、入学前から支援を要する生徒の現況と入学予定を把握した上で、設計計画をスケジュールとしていく必要がある。				継続
						今後もニーズを適切に把握した上で、設置を進めていく。

8	所管室課	教育センター	事業名	中学校管理事業		
事業概要						
中学校管理						
活動実績						
【学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業による拡充】		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	601,650	109,241	207,140	
		一般財源の比率(%)	19.9	99.2	100.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
		ICTの活用は生徒の興味や関心を高め、主体的、対話的で深い学びの実現に効果的である。GIGAスクール構想のもと、児童・生徒1人1台端末の整備と運用により、個別最適化された教育環境の提供に努めていく必要がある。				継続
						生徒一人ひとりに合った最適なICT教育を図るため今後も必要な経費となる。

9	所管室課	教育未来創生室	事業名	中学校給食事業		
事業概要						
中学校給食						
活動実績						
中学校の全員給食の実施に向けて検討を行っている。 令和8年度中の給食提供開始を目指し、健都イノベーションパークを第一の候補地として、民設民営の給食センター設置について検討しており、金融機関や給食調理事業者などへのヒアリングや事業費のシミュレーションを行い、事業者募集の可能性検討を行った。 また、各中学校において給食配膳室等の改修工事を行うための調査と概算設計について委託により実施した。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	-	-	2,973	
		一般財源の比率(%)	-	-	100.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
		令和8年度中の全員給食の開始を目標に、提供方式や調理施設の整備場所の決定等に向けた検討を進め、実現方法を具体化する必要がある。 また、選択制から全員給食へ円滑に移行できるよう、各学校の給食配膳室の改修及び給食指導や食育などに関するマニュアルの作成や周知などを計画的に行っていく必要がある。				拡充
						全員給食の実施に向けて取り組んでいく。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名